



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 ショクブン

上場取引所 東名

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 章人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 伊藤 久日

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,671	4.7	10		19		2	
2019年3月期第1四半期	1,753	15.2	5		2		33	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 21百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.31	
2019年3月期第1四半期	3.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,110	404	6.6
2019年3月期	6,107	407	6.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 404百万円 2019年3月期 407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,190	6.9	60		68		36		3.84
通期	6,637	6.6	75		92		79		8.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	11,856,669 株	2019年3月期	11,856,669 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,252,969 株	2019年3月期	2,252,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,603,700 株	2019年3月期1Q	9,603,749 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理化であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中通商問題や中国経済の減速を背景に、企業の業況判断には慎重さが見られ景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループが属する食品業界におきましても、消費マインドの低下、家族構成の変化に加え、少子高齢化に伴う人口の減少等、取り巻く環境の変化に迅速に対応できる体制の構築が求められております。

当社グループは、このような状況の下におきましても、利便性を高め、受注の増加を図り、安定的な利益を確保できる体制の再構築に全力で取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力のメニュー商品売上高は15億72百万円(前年同四半期比95.2%)、特売商品売上高については、99百万円(前年同四半期比96.2%)になりました。

利益面におきましては、好天に恵まれたことで、野菜等の仕入価格が比較的安定したことに加え、作業の効率化に努めたことにより、製造にかかるコストが削減されたため、売上原価率は58.7%と前年同四半期の60.8%に比べて2.1ポイント減少いたしました。

また、販売費及び一般管理費は人件費をはじめ、経費全般の見直しを行い削減に努めた結果、前年同四半期より12百万円減少し、6億79百万円になりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が16億71百万円(前年同四半期比95.3%)、営業利益は10百万円(前年同四半期は5百万円の営業損失)、経常利益は19百万円(前年同四半期は2百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円(前年同四半期比9.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、販売拠点の統合に伴い、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2百万円増加の61億10百万円になりました。

負債につきましては、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が減少しましたが、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5百万円増加の57億6百万円になりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加しましたが、その他の包括利益累計額が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ3百万円減少の4億4百万円になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、2019年5月14日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,600	469,028
売掛金	22,580	26,258
原材料及び貯蔵品	110,247	115,120
その他	40,091	66,351
貸倒引当金	△8,503	△8,503
流動資産合計	844,016	668,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	693,905	688,702
土地	3,876,848	4,050,528
その他(純額)	38,971	47,858
有形固定資産合計	4,609,726	4,787,088
無形固定資産	27,524	29,765
投資その他の資産		
投資有価証券	148,775	147,756
退職給付に係る資産	265,672	265,672
その他	222,786	219,285
貸倒引当金	△10,670	△7,310
投資その他の資産合計	626,564	625,404
固定資産合計	5,263,814	5,442,258
資産合計	6,107,831	6,110,515
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,430	247,370
短期借入金	2,990,000	3,130,000
1年内返済予定の長期借入金	520,784	505,073
未払法人税等	24,921	987
賞与引当金	40,000	13,425
資産除去債務	8,152	15,048
その他	372,208	427,960
流動負債合計	4,214,496	4,339,864
固定負債		
長期借入金	1,286,449	1,163,711
資産除去債務	22,554	22,985
繰延税金負債	119,510	119,326
その他	57,350	60,361
固定負債合計	1,485,864	1,366,384
負債合計	5,700,361	5,706,249

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,141	1,488,141
利益剰余金	△1,115,467	△1,112,489
自己株式	△1,111,208	△1,111,208
株主資本合計	409,475	412,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,809	△32,829
退職給付に係る調整累計額	26,804	24,642
その他の包括利益累計額合計	△2,005	△8,187
純資産合計	407,470	404,265
負債純資産合計	6,107,831	6,110,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,753,807	1,671,047
売上原価	1,066,948	980,502
売上総利益	686,858	690,545
販売費及び一般管理費	692,644	679,991
営業利益又は営業損失(△)	△5,785	10,553
営業外収益		
受取利息	204	198
受取配当金	2,042	1,988
固定資産受贈益	-	8,451
その他	5,814	5,555
営業外収益合計	8,061	16,194
営業外費用		
支払利息	4,074	6,474
その他	629	534
営業外費用合計	4,704	7,008
経常利益又は経常損失(△)	△2,428	19,739
特別利益		
固定資産売却益	51,695	-
特別利益合計	51,695	-
税金等調整前四半期純利益	49,266	19,739
法人税、住民税及び事業税	13,142	15,993
法人税等調整額	3,001	769
法人税等合計	16,144	16,762
四半期純利益	33,122	2,977
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,122	2,977

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	33,122	2,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,072	△4,020
退職給付に係る調整額	△3,833	△2,162
その他の包括利益合計	△11,905	△6,182
四半期包括利益	21,216	△3,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,216	△3,205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2019年3月期までの間、3期連続して営業損失を計上しております。当第1四半期連結累計期間において営業利益を計上しているものの、継続的な収益性の回復を確認できるまでに至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

しかしながら、当社グループでは、当該状況を解消すべく、販売力の強化、メニュー原価及び販売価格の見直しなど個人客向け宅配システムの強化を推進していくとともに、不採算である営業所の改善、コストの見直しを行うことで利益の増加を図っております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、営業利益を計上しており、業績回復の兆しが見えております。加えて、現金及び預金の残高にて当面の間の運転資金が十分に賄える状況であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。

今後におきましても、これらの施策を着実に実行していくことで、売上高を回復させ、黒字化を達成すべく努めてまいります。